

25 日臨技発第 116 号
平成 25 年 8 月 19 日

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会 員 各 位

一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会
会長 宮島 喜文

認定心電検査技師制度の方向性について（報告）

謹啓

時下、皆様におかれましてはますますご発展のこととお慶び申し上げます。平素は日臨技の運営にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

今年度の認定心電検査技師試験については、日臨技と日本心電学会の双方から実施案内がなされ、会員の皆様や都道府県技師会から「どちらの試験を受験すべきか」等との問い合わせをいただくなど、混乱が生じ、会員の皆さま方には、色々ご迷惑をおかけしています。

このことにつきましては、平成 25 年 5 月 7 日付「平成 25 年度の認定心電検査技師制度について（報告）」で、日臨技としては従前どおりの制度を堅持する旨をホームページに掲載し、諸般の事情から掲載を中止しております。

この状況を解消するため、6 月 24 日に日本心電学会の新理事長との協議を始め、7 月 18 日付には既存組織の認定検査技師機構の枠組みの中で本制度の一本化を提案するなど、最大限の努力をしてみましたが合意に至ることはできませんでした。甚だ遺憾な結果であります。

7 月 18 日付の提案は、7 月 27 日の日臨技の理事会においても同意・確認されており、このことが合意に至らないことから、今年度の認定心電検査技師制度は、従前どおり日臨技認定センターで認定試験ならびに資格更新を実施することになりました。

この間の経緯や問題点については、会報 JAMT などを通じて順次公表し、透明性を高めるとともに、再度、このような事態に至らぬよう毅然とした対応をして参ります。

会員の皆様には、色々ご迷惑ご心配をお掛けいたしました。日臨技主催の試験の受験及び資格の更新での手続きを進められますようお願いいたします。

今後は、会員の更なる利便等に努めるとともに、より多くの会員の皆様が、認定の取得や資格更新に取り組みやすいよう、各支部や都道府県でも研修会開催の計画を進めてまいります。

今後とも、日臨技の事業活動にご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

謹白